

各位

石油資源開発株式会社

Tel: 03-6268-7000 (会社代表)

<https://www.japex.co.jp/contact/>

中東情勢の緊迫化に伴う当社業績への影響に関するお問い合わせについてのお知らせ

石油資源開発株式会社（JAPEX、以下「当社」）は中東情勢の緊迫化を受け、2026年4月17日付「中東情勢の緊迫化に伴う当社業績への影響について」（以下「リリース文」）を公表しております。その後、リリース文について多くのステークホルダーの皆様よりお問い合わせをいただいておりますが、その主なものについて以下の通りお知らせいたします。

【主なお問い合わせ】

Q1：リリース文では、2026年度第1四半期中東産LNG2隻分を代替調達（ターム契約による調達に代えてスポット契約による調達）する計画とのことだが、第2四半期以降も追加で代替調達を行う可能性はあるのか。

A1：第2四半期において、中東産LNGの調達計画はございません。下半期については中東産LNG数隻の調達を予定していますが、代替調達の要否については現時点で未定です。今後も情勢の変化に応じて必要な対応を講じてまいります。

Q2：下半期に数隻の中東産LNGを調達予定とのことだが、具体的な隻数を教えてほしい。また、これらについても代替調達となるのか。

A2：当社の調達戦略に関わるため、具体的な数値の公表は差し控えます。代替調達の要否については、今後の情勢を慎重に見極めた上で判断してまいります。お客様への安定供給を最優先としつつ、効率的な運用を通じた在庫の温存や代替調達数量の最適化を図り、業績への影響を最小限に留めるよう努めます。

Q3：代替調達による、1隻当たりの調達コストへの影響度（コストアップ水準）を教えてください。

A3：代替調達による1隻当たりのコストアップ水準の詳細は精査中ですが、1隻あたり数十億円規模に達する可能性があります。一般的なLNG船1隻（6万t～7万t≒300万～350万MMBTU積載）換算では、スポット契約による調達の指標価格であるJKM（Japan Korea Marker）が1ドル/MMBTU上昇するごとに、LNG仕入れコストは約300万～350万ドル上昇する計算となります。足元のJKM（約20ドル/MMBTU）は、日本のLNG平均輸入価格であるJLC（Japan Liquefied Natural Gas Cocktail）2月速報値（10.59ドル/MMBTU）を大きく上回っており、厳しい調達環境にあると認識しています。

Q4：代替調達手段を講じること等により、天然ガス供給や電力供給に支障が生じる懸念はないとのことだが、代替調達ができなくなるリスクはないのか。

A4：ホルムズ海峡経由の供給制限とカタールの不可抗力宣言により、LNG需給が世界的にひっ迫し、特に期近のスポット価格が高止まりしています。代替供給源である米国・豪州産を巡って欧州やアジアの買い手によるLNGの獲得競争がその背景にあるものと認識しています。ただし、中東情勢のさらなる悪化やホルムズ

海峡の封鎖が長期化した場合には、高油価等により世界的に経済活動が停滞し、LNG 需要が減少することも予想されます。そのため、当社のお客様が必要とされる数量の代替調達が物理的に困難となる可能性は低いと考えています。

Q5：代替調達分の LNG と当初予定のターム契約分の LNG が重複して入着した場合の、在庫への影響について確認したい。引取数量が倍になることで、余剰が生じるリスクはあるか。

A5：重複して入着した際は、基本的にはいずれかの LNG を転売することで在庫を調整する予定です。

Q6：イラク ガラフ油田事業にどのような影響を与えているか。

A6：ジャペックスガラフ社は、イラク政府とのサービス契約に基づき、ガラフ油田の開発等に必要な資金を拠出したうえで、相当する原油を受領することにより資金の回収を行います。現在、同油田の生産操業および出荷が停止していることにより、当該資金回収に遅延が生じています。かかる状況が長期化する場合には、同社の運転資金確保のために必要な対応を検討してまいります。

以上

注意事項

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。